

第 57 期定時株主総会 質疑応答集（事前質問への回答を含む）

<p>Q. 米中関係の悪化が懸念されるなか、半導体業界への影響も必至と思われるが、こうした環境変化は当社にとって結果的にプラスとなるか否か？（事前質問）</p>
<p>A. 国家間・政治的な動向や施策に対して企業としてコメントを控えさせていただくが、今後の動向について注視していく必要があるものの、IoT、AI、5Gの流れの中、半導体が第4次産業革命における「産業の米」であるという位置づけはますます高まった印象である。</p> <p>即ち、未来に向けた半導体の重要性は不変であり、技術革新が続く限り、市場は拡大する。よって、当社が世界をリードする技術革新力を持ち続けることが重要であり、引き続き Best Products, Best Service を追求していく。</p>
<p>Q. 第1号議案の社外取締役3名は再任候補となっている。 社外取締役にも愛社精神を持ってサポートしてほしいが、保有株式がゼロである理由を教えてください。</p>
<p>A. 社外取締役には、監督・モニタリング機能を果たしてもらうほか、当社の成長に対して貴重なアドバイスをいただいている。株主と同じ視点をもって今後の企業価値向上に寄与してもらうため、社外取締役も株式を所有したほうが良いと考え、今回、これまでの現金賞与を廃止し、業績に連動しない報酬として株式を支給することとした。</p>
<p>A. （社外取締役からの発言）社外取締役の立場として、業務の監督だけでなく、中長期的な成長に向けて大きく貢献するという事は、社外取締役共通の思いである。当社は、人を大切に、中長期的に成長し、技術の世界でグローバルな企業として展開している。社外取締役として愛社精神を持って、今後も職責を果たしていきたい。</p>
<p>Q. 半導体製造装置の売上ランキングにおいて当社を含む4社で60%のシェアを持っているとの説明があったが（プレゼンテーション資料P24）、残り3社の社名と、4社のなかでの当社の独自の強みを教えてください。</p>
<p>A. 売上ランキング上位4社のうち当社以外の3社は、Applied Materials、ASML、Lam Research。（出典：VLSI Research, May 2020）</p> <p>当社の原動力は、業界のリーディングカンパニーとして育んだ豊かな技術力、確かな技術サービスに基づく顧客からの信頼、そして環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる社員と、そのチャレンジ精神である。</p> <p>当社は、半導体の特性を決めるにあたりキーとなる、成膜・リソグラフィー・エッチング・洗浄の4つの工程において、世界シェアが1位・2位の装置ラインアップを有している。</p>
<p>Q. 6/18の業績予想の発表に関して、証券会社のレポートでは、メモリ向けの需要が増えることと、またシェアが拡大するとあったが、具体的にどの装置のシェアが伸びると考えているのか？</p>
<p>A. 当社の中期経営計画の達成のために3つの注力項目がある。それは、エッチング、成膜、洗浄の各装置で、これらの装置市場は拡大していくと考えているので、そこでポジションを取れば市場をアウトパフォームすることができる。</p> <p>そのエッチング、成膜、洗浄各装置においては、昨年、顧客の装置採用認定を得られており、それがシェア向上のポイントになる。</p>